
箱庭の転生者

ハレー彗星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

箱庭の転生者

【Nコード】

N5270BA

【作者名】

ハレー彗星

【あらすじ】

こんにちは、斎藤竜一です。

俺は死んだみたいだ。

いや、ほんと、マジで！！

神って言うてる爺さんが土下座をしている・・・転生させてくれるって言うんで転生した。めだかボックスに。

プロローグ（前書き）

この回は主人公と神との会話です。

プロローグ

こんにちは、朝霧直人です。

俺は死んだんだ。

いや、マジで！！それで創造神（笑笑）が土下座をしている・・・

「どーすりゃいいんですか・・・」

俺は上を見上げている・・・。真っ白な空間だ。

「ごめんなさいごめんなさい・・・」

「うるせえ、黙れ・・・」

「・・・はい」

「じゃあ、聞きたいことがある」

「なんじ・・・何ですか？」

「俺は死んだはずだろ？何で此处に居んの？」

「おおっ！死んでおるときの記憶覚えているのか！！なら、話が早い」

「お主の死んだのはわしのせいじゃ。じゃから転生させようかと・・・」

「転生？」

「そうじゃ、転生」

「どこに、転生できるんだ？」

「漫画の世界・アニメに行けるぞ」

「あと、チート能力もつけるんじやが……」

「じゃあ、死ぬ前に見た“めだかボックス”で」

「了解じゃ、めだかボックスと……」

「能力を決めてくれ」

「分かった、じゃあ、身体能力を身体能力を黒神めだかの20倍にして、

黒神くじらの知能の20倍にしてくれ。

それと、俺の異常？アブノーマル？と過負荷？マイナス？をくれ。」

「ふむ！良からう！して異常と過負荷の名は？」

「異常は無効有効？ライフプラス？で

異常・過負荷が全て無効になり尚且つ、その能力を使えるようになる。」

「チートじゃのう」

「良いんだろう？」

そして、過負荷は痛領域？ペイン・フィールド？は半径50m以内の人間に全ての痛みを与える。あ、心の痛みとか痛みがつくものことね。」

「まだ、容量あるんじゃないが………」

「マジか………じゃあ、出会いで主人公たちに会えるのはどうだ？」

「いいぞい、あと、二つじゃが能力」

「じゃあ、高性能のノートパソコンで壊れないのくれ
あとは、必要だと思った知識を忘れないようにしてくれ。」

「了解じゃー！じゃあ来世で頑張るんじゃないー！」

「おうー！ー！」

シュンー！ー！

プロローグ（後書き）

どうもありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5270ba/>

箱庭の転生者

2012年1月14日16時45分発行